

松本市地域づくり推進交付金実績報告書(抜粋)

(申請者) 神林町会連合会

1 交付決定額

I	金 600,000 円
---	-------------

2 本年度実績の報告

(1) 本年度の交付金事業の報告

① 事業名： 地域包括ケア推進事業				
実施主体	神林地区地域ケア会議			
実施日(期間)	令和4年6月2日～令和5年3月31日			
実施場所	神林地区			
事業概要	高齢者が歩いて行ける距離での、誰もが気楽に集まり話せる場、趣味を楽しむ場、情報収集の場、健康増進・介護予防への取り組む場として、パイナップルカフェを9回、出張サロンを4回開催運営した。			
地域づくりの成果・効果	カフェについては、ヴァイオリン・ピアノコンサート、特殊詐欺、相続の準備と遺言書の書き方、減塩食、脳トレ、フレイル予防など、出張サロンは、からだリフレッシュ講座と、多様なテーマで開催することにより、住民同士の交流を活性化し、共に支え合う地域包括ケアを推進。			
課題	新規参加者の掘り起こしと魅力あるプログラムの企画立案。			
決算額	a+b+c	財源内訳		
		a	b	c
	187,821円	80,000円	円	107,821円

a : 本年度の交付金額のうち、この事業に充当した額

b : 前年度の交付金の繰越額のうち、この事業に充当した額

c : この事業に充当したその他の財源の額

② 事業名： 子ども育成事業				
実施主体	神林子ども会育成会			
実施日(期間)	令和4年7月1日～令和5年3月31日			
実施場所	神林公民館、体育館、農村広場、福祉ひろば			
事業概要	7月31日(日)に「マスつかみ大会」、12月18日(日)に「正月飾りつくり講習会」を開催。			
地域づくりの成果・効果	マスつかみ大会は、3年ぶりの開催。コロナ感染防止策を徹底した中、多数の参加者により賑やかに開催できた。講習会は、伝統的な正月飾り(おやす、輪締め)を体験した。			
課題	本年度は、コロナ対応で、11月のゲーム大会が中止となった一方で、8月20日の神林地区平和祈念式典における平和作文朗読に代表参加できた。			
決算額	a+b+c	財源内訳		
		a	b	c
	7,169円	5,000円	円	2,169円

③ 事業名：コミュニティバス利用促進事業				
実施主体	神林町会連合会			
実施日(期間)	令和4年8月1日～令和5年3月31日			
実施場所	神林～鎌田地区(石芝)			
事業概要	西部地区コミュニティバスE線(平田・波田線)を利用した、「林檎の湯屋おぶ～」を目的地としたツアー(体験乗車会)を実施。			
地域づくりの成果・効果	路線バス公設民営化に向けて、体験乗車により、地区住民の路線バスへの関心を高めるとともに、バス路線の周知を図った。			
課題	令和5年4月の路線再編に合わせて、路線網維持・利活用のためには、地区住民への更なる地区内バス路線の周知PR策とバス利用促進策が必要。			
決算額	a+b+c	財源内訳		
		a	b	c
	12,100円	10,000円	0円	2,100円

④ 事業名：神林公民館・体育館避難所運営事業				
実施主体	神林公民館・体育館避難所運営委員会			
実施日(期間)	令和4年4月1日～令和5年3月31日			
実施場所	神林地区			
事業概要	平成28年に設置された神林公民館。体育館避難所運営委員会による避難所運営のための防災資機材を整備したもの。 今年度は、防災用品を収納する倉庫を整備。			
地域づくりの成果・効果	避難所運営委員会による避難所開設訓練では、松本市福祉政策課から、災害時支援を必要とする方への対応を学ぶとともに、避難所開設の流れについて、運営マニュアルの確認を行い、住民の危機意識を高めた。			
課題	引き続き、防災資機材の計画的な整備を推進する。また、地区住民の安否確認訓練など実際に即した訓練手法の検討が必要。			
決算額	a+b+c	財源内訳		
		a	b	c
	660,000円	405,000円	0円	255,000円

⑤ 事業名：地域活性化事業(地区文化祭50回記念事業)			
実施主体	神林町会連合会・神林公民館		
実施日(期間)	令和4年7月1日～令和5年3月31日		
実施場所	神林地区		
事業概要	神林ふれあい文化祭の第50回記念事業として、松本蟻ヶ崎高校書道部の書道パフォーマンスと波田少年少女合唱団による特別記念講演イベントを実施。また、「50回の歩み」として神林ふれあい文化祭記念詩を発行。		

地域づくりの 成果・効果	文化祭のステージ発表を3年ぶりに実施することができた。(飲食を伴うイベントは中止)第50回記念イベントには300人を超える多くの地区住民の参加があった。記念誌は令和5年3月末発行し全戸配布を行った。			
課題	地区行事へのより多くの住民が関心を持っていただくような、きっかけづくりとして、様々な事業展開を図りたい。			
決算額	a+b+c	財源内訳		
		a	b	c
	100,000円	100,000円	0円	0円

※ 事業が4以上ある場合は、枠を増やして記載すること。

決算額(計) (①+②+③)	A+B+C	財源内訳		
		A	B	C
	967,090 円	600,000円	0円	0円

A : 各事業のaの合計額

B : 各事業のbの合計額

C : 各事業のcの合計額

(2) 本年度の積立実績の報告

該当なし

(3) 本年度の交付金のうち、翌年度に繰り越す金額の報告

I-A-D	金	0 円
-------	---	-----

[参考]繰越上限額=I×2/10